

(別紙資料)

漁業技術シンポジウム
テーマ：大型クラゲによる漁業被害を軽減させる技術

大型クラゲは近年頻繁に大量出現し、漁業に大きな被害を与えた。大型クラゲによる漁業被害を軽減するために、独立行政法人水産総合研究センターでは、先端技術を活用した農林水産研究高度化事業の一環として「大型クラゲの大量出現予測、漁業被害防除及び有効利用技術の開発」を行ってきた。この事業と並行して、大型クラゲ漁業被害軽減対策技術の開発に関する事業がマリノフォーラム 21、海洋水産システム協会を研究推進主体として進められてきた。また、現場の独自の発想から新しい技術開発も行われてきた。これらの成果情報を、漁業生産現場を含めた関係者と共有することにより、今後の技術開発・改良に役立てる。

開催日時 平成 19 年 6 月 19 日 (火) 13:30~17:00

開催場所 石川県水産会館 5F ホール (石川県金沢市北安江 3 丁目 1-38)

13:30 開会の挨拶 影山智将 (水産工学研究所)
坂本幸彦 (石川県水産課長)
13:30~13:40 主旨説明 長谷川誠三 (水産工学研究所)

研究発表

13:40~14:10 大型クラゲの生態 飯泉 仁 (日本海区水産研究所)
14:10~14:30 大型クラゲ行動調査結果 本多直人 (水産工学研究所)
14:30~15:00 北陸地方を中心とした定置網漁業における大型クラゲ対策網の開発
鯉野 宏 (ホクモウ株式会社)
15:00~15:10 休憩
15:10~15:30 中型まき網の大型クラゲ防除網の開発
柴田 敏 (石川県水産総合センター)
15:30~15:50 大型クラゲ侵入防除網を用いた駆け廻しによる試験操業について
奥山 忍 (秋田県農林水産技術センター水産振興センター)
15:50~16:10 定置網漁業における大型クラゲ混獲防除方法について
内海卓三 (F. G. M. A.)
16:10~16:30 平成 18 年度の第七開洋丸および開洋丸による大型クラゲ調査結果概要
渡部俊広 (水産総合研究センター)・貞安一廣・長谷川誠三 (水産工学研究所)
16:30~17:00 総合討論

閉会の挨拶 小田健一 (水産工学研究所)

会場へのアクセス

JR金沢駅から徒歩約5分

